



えひめ



Contents

特集

みなとオアシス

～みなとを活用した地域づくり～

- ニュース&トピックス
- 現場だより … ～平成22年度の主な事業の紹介～





特集 みなとオアシス

～みなとを活用した地域づくり～



皆さんは、国土交通省が取り組んでいる「みなとオアシス」という言葉をお聞きになったことはありますか？愛媛県内にも、3つの「みなとオアシス」がありますが、まだまだ知名度は今ひとつ。今号は、地域の特性やニーズに応じて展開されている「みなとオアシス」をご紹介します。

みなとオアシスって？

「みなと」は昔から人々の生活の拠点として、暮らしや産業の発展に貢献し、まさに津々浦々、それぞれの地域独自の文化・歴史を育んできました。

このような「みなと」が生みだす効果や魅力を改めて見直し、さまざまなイベントや地域の名産を販売することによって、地域の人々や観光客が気軽に立ち寄り交流する憩いの場、いわゆる「オアシス」をつくらうという取り組みです。



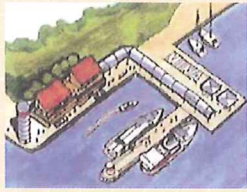
みなとオアシスの特色

海浜、旅客ターミナル、広場など「みなと」の施設を活用して、イベントや物販によって多くの人々に「みなと」に来てもらうことを目指します。そのためには、地域のニーズを反映し、より地元に愛されることが重要であることから、構想段階から運営・維持管理段階まで、住民の皆さんに参加していただきながら創り上げていくことが大きな特色です。

みなとオアシスの展開パターン

地域の特性、今ある施設を活用した、さまざまな展開が可能です。

①旅客ターミナル型



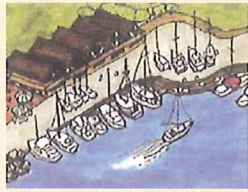
旅客船やフェリーターミナルを中心とした展開

②海浜型



インフォメーションセンター等の核となる施設をもつ海浜を中心とした展開

③ボートパーク型



マリナーやボートパーク等の施設や地区を中心とした展開

④複合・総合型



①～③までの機能が複合した総合的な展開



四国のみなとオアシス

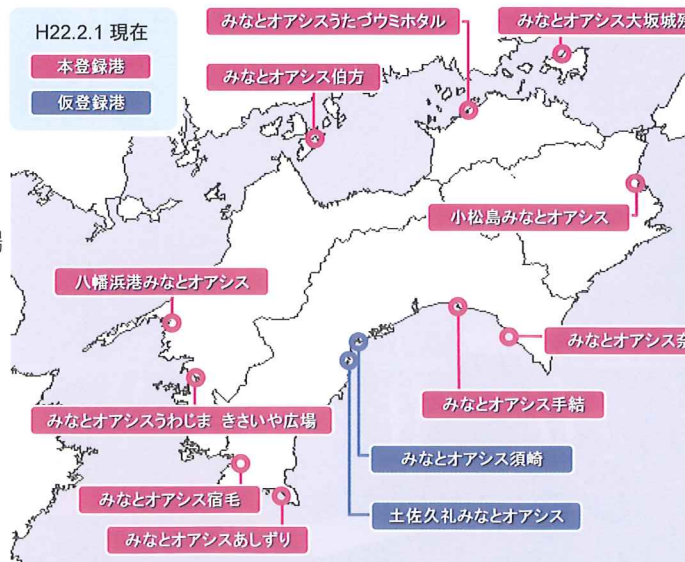
平成22年2月1日時点で、全国に46箇所にも増えており、四国は10箇所のオアシスが活動しています。観光やレジャーにも心強い味方の「みなとオアシス」にぜひ、足を運んでみてはいかがでしょうか。



▲八幡浜港みなとオアシス ※旧市場



▲みなとオアシスうわじま きさいや広場



▲みなとオアシスうたづウミホテル



南予地方の注目スポット!!

大盛況!! みなとオアシスうわじま きさいや広場

宇和島市にある交流拠点施設、「道の駅・みなとオアシス きさいや広場」の賑わいが止まりません!!

きさいや広場は、宇和島市が「みなと」発の地域振興や交流・賑わい創出を目指して、同市弁天町で整備をすすめ、平成21年4月26日にオープンしました。

地元でとれた農水産物の販売や宇和島の郷土料理が食べられるレストランをはじめ、年間を通じた大小さまざまなイベントが多目的広場や市民ギャラリーで開催されています。来場者は、オープンから僅か8ヶ月で、年間予想数の50万人をはるかに上回る75万人以上の人々が押し寄せています。



▲宇和島市弁天町の「きさいや広場」(表紙写真)

きれいな海をめざして



人事院総裁賞を受賞

12月9日(水)、東京都港区の明治記念館において、江川人事院総裁から「第22回人事院総裁賞」を受賞しました。

今回の受賞は、瀬戸内海における浮遊ごみ・油の回収を行う、「海洋環境整備事業」の功績に基づくもので、過酷な勤務条件の中、多年にわたって、浮遊ごみの回収に取り組んできた当所の海面清掃兼油回収船「いしづち」をはじめとする実施グループが顕彰されたものです。

海面に浮かぶ浮遊ごみは、船舶や客船の航行を妨げるなど、海上物流ネットワークに大きな損失をもたらし、流出した油は海域の環境破壊や漁業へ甚大な被害を与えます。松山港湾・空港整備事務所においても、昭和52年から海面清掃兼油回収船「いしづち」によって、伊予灘・燧灘を中心とした海域から25,000㎡以上の浮遊ごみ、470㎡の油を回収してきました。



▲海面清掃兼油回収船「いしづち」



▲海洋環境整備事業実施グループの代表

四国の海上物流を考える

四国の外貿コンテナ貨物輸送効率化検討WGが開催

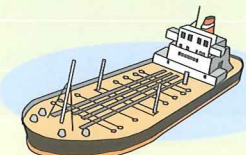
四国地方整備局では、四国国際物流戦略チームの戦略提言に基づいた、「四国の外貿コンテナ貨物輸送効率化検討ワーキンググループ」が12月8日、2月4日、3月3日に開催されました。

このワーキンググループでは、四国の港湾利用者、港湾管理者等が港湾物流にかかる課題や問題意識を共有するもので、四国の国際物流における非効率を解消する具体的な施策の検討を進めています。



主な検討テーマ

- ・アジア地域とダイレクトに結ぶ外貿コンテナ航路の充実
- ・基幹航路との円滑な接続を確保するための内航フィーダー機能の強化





現場だより

～平成22年度の主な事業の紹介～

松山港湾・空港整備事務所が整備を進めている「みなと」の平成22年度の整備計画を各現場からお届けします。

◎松山港外港地区

利用船舶の大型化や取扱貨物の増大を目指して、多目的国際ターミナルの整備を進めています。水深13m岸壁が完成すれば、4万トン級船舶の接岸が可能となります。平成13年から供用されている水深10m岸壁との相乗効果も期待され、松山港を利用した海上輸送効率は一段と向上します。

★岸壁 (-13m)

これまでに岸壁全長260mのうち、約230m区間のケーソン据え付けを実施しました。平成22年度は残る30m区間のケーソン据え付けを実施します。

★泊地 (-13m)

岸壁供用に向けて、4万トン級船舶が安全に停泊できる水深が必要になることから、^{はくち}泊地を掘り下げます。

平成22年度は19,000㎡の海域を^{しゅんせつ}浚渫する予定です。



▲松山港の^{しゅんせつ}浚渫作業の様子

ケーソンって?

ケーソンはフランス語で、「大きな箱(caisson)」を意味します。

鉄筋コンクリートで製作された巨大な構造物で、防波堤や岸壁などの港湾工事で頻りに使用されます。写真のケーソンは、高さ20m程度、重さ2,000トン程度になります。

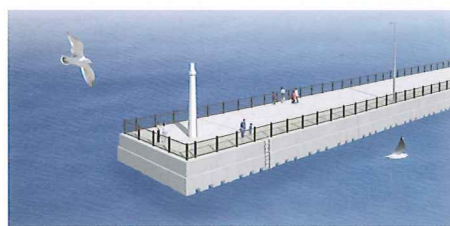


◎今治港富田地区

3万トン級コンテナ船が入港できる水深12m岸壁と、水深10m岸壁を備えた今治港は、日韓定期コンテナ航路が充実しており、週5便が就航しています。四国の貿易港の先駆けとして、昭和59年から今治港富田地区多目的国際ターミナル整備事業を進めてきましたが、平成22年度に全ての事業が完了します。

★防波堤

岸壁前面の静穏度確保を目的として、防波堤(全長500m)の整備を進めてきました。すでに全区間のケーソン据え付けが完了しています。平成22年度は、この防波堤が来島海峡や燧灘が一望できる絶好のポイントであることから、市民が自由に散策できる親水性機能をもった上部工を施工します。



▲富田地区防波堤イメージ図
防護柵、照明設備やスロープを備えた防波堤



◎三島川之江港金子地区

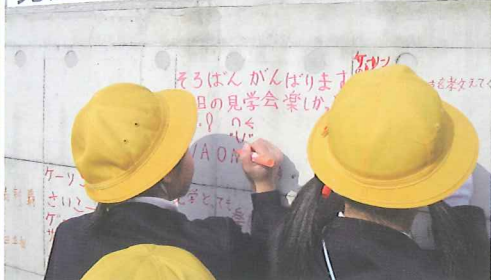
三島川之江港の位置する四国中央市は古くから製紙業が盛んですが、製紙業に必要な原材料貨物（パルプ・木材チップ・石炭）船の大型化に対応した岸壁が不足している、慢性的な滞船（船舶の沖待ち）が発生していました。また、コンテナ貨物の増大も進み、5万トン級船舶が接岸可能となる水深14m岸壁を備えた多目的国際ターミナルの整備を進めています。

★防波堤（西）

全長200mの防波堤のうち、これまでに約150m区間のケーソン据え付けが完了しています。平成22年度は残り50m区間のケーソン据え付け工事をもって完成します。



発注：四国地方整備局



2月23日(火)、四国中央市立松柏小学校の4年生の皆さんと「みなと」の役割について学習をしました。その後、金子地区のケーソン製作ヤードに出かけて、防波堤（西）で使用するケーソンを見学しました。

クレーン車をはじめ、大型重機の作業を目の当たりにした見学会は、迫力溢れるものでした。最後に今回の見学会の記念として、みんなでケーソンに寄せ書きをしました。

※寄せ書きした箇所は、ケーソンが海に沈んでいる部分なので、景観上・安全上も支障はありません。

◎松山空港

愛媛県の経済、観光に大きな役割を果たしている松山空港は、四国・中国地方にある13空港の中でも年間発着回数は第1位（平成20年度：3万回以上）、乗降客数は広島空港に次いで第2位（平成20年度：253万人）と四国・中国地方を代表する主要空港に挙げられています。

★誘導路

誘導路は飛行機がエプロン（駐機場）と滑走路を移動するための通路です。

松山空港の誘導路は、経年による劣化や飛行機の往来から発生する轍掘り^{かたじ}が著しく進行していることから、誘導路の改良整備を実施します。



▲経年によるクラック（ひび割れ）



▲松山空港の舗装改良の様子

みなとまちづくり市民講座 開催!!



4月10日(土)、八幡浜市において、「みなとまちづくり市民講座」が開催されます。

これは、八幡浜港みなとまちづくり協議会が進めてきた「みなとまちづくり」の取り組みについて市民に紹介するとともに、県外のみなとまちづくりで活躍されている方からの講演や意見交換会を行うものです。



▲島 康子さん



▲新井 洋一さん

日時 平成22年4月10日(土) 13:30~16:45

場所 ハーバープラザホテル (八幡浜市仲之町)

講師、テーマ

- 島 康子さん 大間まちおこしゲリラ あおぞら組
第1部 「海は世界とつながっている! -本州最北端の町の風おこし」
- 新井 洋一さん 日本大学総合科学研究所教授
第2部 「みんなでつくるみなとまち八幡浜 ~稼ぐ・自慢する・歩き回る・安心する」

主催 八幡浜港みなとまちづくり協議会ワーキンググループ

(事務局:八幡浜市水産港湾課 後援:国土交通省四国地方整備局)

※参加申込みは、電話又はファックスで事前に事務局へ連絡が必要です。

TEL:0894-22-3111 FAX:0894-24-6180

出前講座・現場見学のご案内

四国地方整備局では、私たちが取り組んでいる事業や施策について、もっと理解を深めてもらうため、職員を派遣する「出前講座」や皆さんに現場にきてもらう「現場見学会」を受けつけています。

出前講座では、意見交換も交えながらニーズや生の声を聞かせてもらいながら、今後の国土交通行政に反映させていきたいと考えています。

詳しい内容は、以下のホームページをご覧ください。

出前講座: <http://www.skr.mlit.go.jp/kaisai/demae/demae.html>

現場見学: <http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/spotguide/top.html>



— 事務所位置図 —



〒791-8058 松山市海岸通2426-1
TEL 089-951-0161(代表) FAX 089-946-8010



〒799-0402 四国中央市三島紙屋町6-45 四国中央市港湾庁舎
TEL 0896-24-1808(代表) FAX 0896-28-1036